



手島 孝教授近影

手島孝教授略歴

- 1933(昭和8)年3月30日 高松市において出生(本籍福岡県)
- 1948(昭和23)年10月 専検(旧制中学5年卒業資格検定)合格
- 1948(昭和23)年11月 新制大学入学資格認定試験合格
- 1953(昭和28)年3月 九州大学法学部卒業
- 1953(昭和28)年4月 文部教官・九州大学助手(法学部)
- 1955(昭和30)年7月 アメリカ出張(フルブライト留学生として1年間)
- 1957(昭和32)年4月 九州大学助教授(法学部)
- 1961(昭和36)年4月 大学院法学研究科授業担当
- 1961(昭和36)年9月 西ドイツ出張(フンボルト財団給費生として2年間)
- 1964(昭和39)年7月 法学博士(九州大学)
- 1967(昭和42)年7月 九州大学教授(法学部)、行政法講座担当、大学院法学研究科指導教官
- 1969(昭和44)年8月 評議員(同年11月まで)
- 1970(昭和45)年1月 憲法講座に担当替え
- 1975(昭和50)年4月 評議員(2年間)
- 1978(昭和53)年9月 西ドイツ出張(フンボルト財団再招待、3ヶ月間)
- 1983(昭和58)年1月 スイス出張(文部省在外研究員として10ヶ月間)
- 1984(昭和59)年12月 日本学術会議公法学研究連絡委員会委員(91年10月まで)
- 1988(昭和63)年6月 韓国出張(釜山大学校招待)
- 1988(昭和63)年7月 法学部長・大学院法学研究科長(2年間)
- 1991(平成3)年10月 ドイツ・オーストリア出張(財団法人学術振興野村基金)
- 1992(平成4)年1月 熊本県立大学社会科学部(仮称)設置準備委員会委員(94年3月まで)
- 1994(平成6)年1月 行政法講座に担当替え

1994(平成6)年3月 九州大学を辞職
1994(平成6)年5月 九州大学名誉教授
1994(平成6)年4月 熊本県立大学教授・総合管理学部長(同年8月まで)
1994(平成6)年9月 熊本県立大学長(任期4年)
1997(平成9)年9月 アメリカ出張(モンタナ州立大学との学生交流協定
調印)
1998(平成10)年9月 熊本県立大学長再任(任期2年)
2000(平成12)年8月 熊本県立大学を退職
2000(平成12)年9月 熊本県立大学名誉教授
現在 国の非常勤の委員として、宗教法人審議会会長、国有財産九州地方審
議会会長

この間

①大学関係で、非常勤講師として、福岡大学(64~77各年度)、島根大学(66、67年度)、熊本大学(73、81年度)、西南学院大学(74、79年度)、鹿児島大学(76、80、84年度)、大阪市立大学大学院(77年度)、名古屋大学大学院(83年度)、広島大学大学院(85年度)および福岡大学大学院(87、91、94年度)に出講、

②学会関係では、日本公法学会理事(69~95年)、日本行政学会理事(66~94年)、日独法学会理事(76年~)などを勤め、また、

③自治体関係で、(a)北九州市マスタープラン調査会委員(64年)、北九州市行政区調査会委員(67年)、福岡市総合計画審議会委員(69~88年)、唐津市行財政検討委員会委員(81年)、春日市行政改革推進委員会会長(86~89年)、熊本市総合計画基本構想審議会会長(99年)など、(b)福岡県開発審査会委員(70~88年、90~98年)、福岡県建築審査会委員(75~88年、90~98年)、久留米市建築審査会委員(84~88年)、福岡県都市計画審議会委員(90年~)、同会長(91~97年)など、(c)春日市情報公開条例制定審議会会長(82~83年)、福岡県情報公開〔条例制定〕審議会会長(84~86年)、福岡市情報公開〔条例制定〕懇話会会長(87年)、福岡県情報公開審査会〔初代〕会長(86~88年)など、

④法曹関係で、福岡県弁護士会懲戒委員会委員（79～94年）、熊本地方裁判所簡易裁判所判事推薦委員会委員（94～00年）など、そして、

⑤国関係では、国有財産九州地方審議会委員（93年～）、同会長（01年～）、宗教法人審議会委員（97年～）、同会長（01年～）などを委嘱される。